

社会福祉学Ⅰ

科目ナンバリング SWS-101
選択 2単位

石島 健太郎

1. 授業の概要(ねらい)

本講義では、社会福祉学の基本的な論点について、具体的な事象に軸足を置きながら議論する。自身も無関係でない問題として社会福祉をめぐる議論を捉え、思考できるようになることを目指す。なお、講義に対する質問・批判は、講義時間中のほか、インターネット上の質問フォームでも受け付ける。それらの質問を踏まえた議論によっても、受講生の理解を促したい。

2. 授業の到達目標

社会福祉をめぐる論点について、具体的な問題を知ること。
そうした問題を解決するための制度と、その限界を理解し、説明できること。

3. 成績評価の方法および基準

試験(80%)および授業中の積極的な参加(20%)による。試験は講義で扱った内容を適切に理解し、これに基づいて関連する社会現象を把握する能力を身につけているかを評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献
坪洋一ほか 『問いからはじめる社会福祉学』 有斐閣

5. 準備学修の内容

毎回の講義内容をよく復習すること。授業資料を見直し、自分の言葉で説明できることとできないことを腑分けし、後者については質問や授業中に提示する参考文献に触れることを通じて理解し、自らの血肉とされたい。

6. その他履修上の注意事項

講義内容への質問・批判等を通じた積極的な授業参加を期待する。また、他者の学習を妨害する行為は厳に慎まれたい。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション:授業計画および概略を示し、評価基準について詳説する。
- 【第2回】 私たちの困難(1):教育
- 【第3回】 私たちの困難(2):労働
- 【第4回】 私たちの困難(3):結婚・出産・育児
- 【第5回】 私たちの困難(4):老後
- 【第6回】 貧困と生活保護
- 【第7回】 働く世代への福祉
- 【第8回】 児童家庭福祉(1)
- 【第9回】 児童家庭福祉(2)
- 【第10回】 高齢者福祉(1)
- 【第11回】 高齢者福祉(2)
- 【第12回】 差別禁止法制
- 【第13回】 社会福祉の歴史
- 【第14回】 質疑応答・試験対策:評価基準について再確認し、試験に向けた学習を支援する。
- 【第15回】 まとめと試験:上記到達目標が達成されたか否かを確認する。